

## 第18回 介護・医療連携推進会議報告

平成28年7月25日 16時00分～  
ケア・オフィス 優 (介護看護課)

### <出席者>

上部入船町内会 会長	佐々木 茂 様
小樽市医療保険部 介護事業所担当主幹	佐藤 正樹 様
南部地域包括支援センター	本間 悦子 様
東南部地域包括支援センター	齋藤 友枝 様
北西部地域包括支援センター	斉藤 彰子 様
ケア・オフィス 優 管理者	二丹田 早稲子
ケア・オフィス 優 介護福祉士	屋代 利恵子
ケア・オフィス 優 事務職員	齋藤 智世

### 1. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス 集計報告

#### ① 4月、5月、6月の集計

・新患4名→訪問看護、訪問介護からの移行1名、新規2名、再開1名(介護のみ)  
ご夫婦での利用者あり。

・現在12名

#### ② 疾患の別

- ・脳梗塞後遺症
- ・脊髄小脳変性症
- ・廃用症候群
- ・アルツハイマー型認知症
- ・頸髄症
- ・視神経脊髄症
- ・変形性膝関節症
- ・視神経脊髄炎
- ・糖尿病
- ・パーキンソン病
- ・脳血管性認知症

#### ③ エリア

幸～桜町

#### ④ 終了者事由

・軽快により、サービス移行。

### 2. 定期巡回サービス内容報告

#### ① 排泄介助、おむつ交換、ポータブルトイレ処理

#### ② 血糖計測とインスリンの声かけ、見守り

→ もともとは毎日の看護師訪問として依頼がきていたが、手順ひとつひとつを写真に撮り手順書を作成し、それを基にヘルパーへ指導。

ヘルパーがしっかりと手順を覚え、ご本人への血糖測定・インスリンの促しを確実に実施。

また、片付け等の際は、血液により感染の恐れも考慮して、十分な指導を実施。

#### ③ 軽微な傷の処置

#### ④ 配膳、下膳、食事介助

#### ⑤ 内服介助、確認(薬剤師との連携、事業所預かり訪問時に持参など) \*お薬預かりについて

- ⑥ 起床、就寝介助
- ⑦ 買い物、調理、洗濯、掃除などの生活支援
- ⑧ 洗顔、清拭、洗髪、足浴、手浴、口腔ケア
- ⑨ 更衣、体位交換
- ⑩ 介護相談
- ⑪ 通院介助（自費）

### 3. 随時対応サービス内容報告

- ① トイレ介助や失禁介助（随時対応）依頼
- ② 体調不良など看護師の訪問要請（緊急対応）
- ③ 血糖値に応じてのインスリン単位の相談
- ④ 不安時の電話相談（ご家族から）
- ⑤ 転倒したが起きられない

### 4. 随時訪問サービス内容報告

- ① トイレ誘導、おむつ交換（時間によって、定期時間変更にて対応）
- ② 話の傾聴

### 5. 訪問看護緊急対応内容報告

- ① 体調不良（吃逆が止まらない、発熱など）
- ② 転倒→介助後、傷の処置
- ③ 便秘対応（浣腸、摘便）

### 6. 現状報告

- ・正職員（看護師、ヘルパーともに）7月より雇用ができ、ようやく人材は落ち着いた。  
看護師は、パートから職員、登録から社保加入パートへ勤務形態の変更もあり、換算数増加あり。

### 7. 広報活動など

- ・なし

### 8. 問い合わせ状況

- ・末期の方の依頼→開始前に死去
- ・インスリンの方の見守り→ヘルパー事業所移行に本人が拒否。（現在、単位オーバーにて利用中と）

### 9. 外部評価について

- ・ご本人、ご家族へアンケート実施（7月末回収し集計）  
上記を踏まえて、評価を実施予定

### 10. 役員の皆様から助言など

## 11. その他

\*お薬の預かりに関して→書類の取り交わし実施の報告（別紙参照）

最近、薬の飲み忘れよりも飲みすぎる利用者様が多いと感じる。

飲みすぎにより薬が不足してしまったり、保険が効かず自費購入となってしまう。

数か所受診する病院がある場合、利用する薬局が異なり一本化ができなかったり、薬を紛失してしまったり、ご夫婦がそれぞれ相手の薬を飲んでしまったりなど、なかなかご自宅での管理が難しい状況の場合もある。やむを得ずお薬をお預かりして管理するにしても、本来、薬もその方の財産であり、紛失しないように気を付けなければならず、お預かり証を取り交わし管理させていただくこととした。

今後も薬をお預かりしなければならぬ方が増えることも予想される。

お預かり証の内容等について各委員にご意見をいただいた。

- 
- 文書でお預かりの確認が双方でできていれば良いと考える
  - 薬局での一元管理など薬剤師へお願いできる体制も整ってきているので、それを利用できれば良いと考える。
  - 専門医にかかることが多くなり、一人で何か所も受診されることが多くなってきている為、全てを診てもらえる『かかりつけ医』が必要と感じる。

いろいろな意見をいただいたが、お薬のお預かりには預かる必要性を判断し、慎重に行うこととする。

また、薬剤師会にも機会を見て一元管理等の体制状況等、お伺いしたいと考える。